

地域漁業学会

会 報

【発行】

地域漁業学会 事務局
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部内
chiikioffice@gmail.com
Tel&Fax 099-286-4280
<http://jrfs.org/>

No.89

2012年7月

目 次

1. 第54回大会案内 学会事務局
1) 京都大会へのお誘い 2) 実施概要
3) シンポジウムの概要 4) 宿泊施設のご案内
2. 地域漁業学会第2回研究会（震災対応特別委員会主催） 震災対応特別委員会
3. 地域漁業学会第3回研究会 研究企画委員会・近畿部会
4. 事務局便り 学会事務局
1) 個別報告の受付について 2) 学会賞の推薦について 3) 「地域漁業研究」投稿のお誘い

1. 第54回大会案内

1) 京都大会へのお誘い

おこしやす（いらっしゃいませ）！ 本年10月26日（金）～28日（日）に第54回大会地域漁業学会を京都で開催させていただくことになりました。昨年の薩摩に続く今年は、京での開催です。2008年「篤姫」、2010年「龍馬伝」、2011年「江」、そして2013年放送予定の「八重の桜」と、大河ドラマでも両地の関わりは紹介されています。「八重の桜」の主人公である新島八重とその伴侶である新島襄は、江戸期の薩摩藩邸跡に同志社大学を創立しました。ただし、今回の開催校は衣笠山を望む立命館大学なので、おまちがいなきようお願いします。

京都での大会は、30年前の1982年以来になります。当時の開催地は日本海に面した丹後・宮津市でした。そうすれば、古都・京都での開催は初めてということになります。恒例のシンポジウムについては、別記のように「琵琶湖をめぐる『漁業環境』の学際的研究」としました。サブタイトルを「湖国と古都の関わりから」としたように、もう1つの立命館大学のキャンパスであるびわこ草津キャンパスからのアプローチも可能です。ここでも、大河ドラマでは「江」とつながっているのは偶然でしょうか。

第1日目に開催されるミニシンポジウムでは「わかさ美浜における伝統的な魚食文化」というテーマで、地域振興に関わる女性の活躍について討論します。福井県美浜町からの登壇者も決定し、打合せが盛んに行われています。あとは特別ゲストとして、ゆるキャラアワード2009でグランプリの「美浜野へし子ちゃん」の参加を待つばかりです。

以上のような多彩なプログラムを用意している京都大会へ、ぜひお越し下さいませ。とはいえ、京都には日本だけでなく、日常的に世界各地からも観光客が訪れています。そのため、宿泊場所の確保には苦勞がたえません。そこで、旅行会社からは3ページのようなご協力を頂きましたので、宿泊に

関しましては早めの御予約を頂ければ幸いです。

会場の立命館大学衣笠キャンパスの周辺には、金閣寺や龍安寺をはじめとする世界遺産の有名寺院が数多くあります。会場に隣接する等持院は、会場から望む衣笠山を借景としています。どうか、会員の皆様でお誘い合わせのうえ、「秋の京」へお越し下さいませ。

(京都大会実行委員長・河原典史)

2) 実施概要

①日程

10月26日(金) 午後各種委員会・理事会

10月27日(土) 午前：個別報告、午後：ミニシンポジウム・総会・懇親会

10月28日(日) シンポジウム

②場所

立命館大学衣笠キャンパス

http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html

大会会場：敬学館、各種委員会会場：学而館、懇親会：諒友館

(詳細は次号で案内します)

〒603-8577 京都市北区等持院北町 立命館大学文学部 (担当：河原)

Tel : 075-466-3201 Fax : 075-465-8188 Email : kawahara@lt.ritsumei.ac.jp

③参加費

参加費：2000円 (要旨集代込み。個人会員、学生会員ともに同額)

なお、非会員で要旨集希望者は2000円。要旨集不要者は無料。

3) シンポジウムの概要

1. テーマ

琵琶湖の「漁業環境」を考える―一湖国と古都の関わりから―

2. 趣旨

琵琶湖は日本最大の湖で、その面積は滋賀県の約6分の1を占める。古来、琵琶湖では、さまざまな内水面漁業が行われ、多くの漁法・魚種がみられた。コイやフナなどを対象とし、増水時に行われる水田漁撈も重要である。また、近世では水棲の鳥類を対象とした狩猟も展開していたことは看過できない。このような複合的な生業は、現在でも一部にみられる。

琵琶湖で漁獲された魚介類は、鮮魚ではなく水産加工品として流通することが多い。それは、内陸に位置する古都・京都との密接な関係性から生じたものである。多様な食文化が育まれ、保存・加工技術の発達や、それに関わる流通構造の変化と密接に関わってきた。ときには、消費者の嗜好にも相互に影響を与えてきた。その一方で、琵琶湖やそれに注ぐ河川では、アユをはじめとする稚魚の養殖も行われてきた。和歌山県紀ノ川や徳島県那賀川などと競合しつつも、市場経済に占める琵琶湖のアユ養殖業の重要性は大きい。すなわち、漁業をとりまく環境は、水質をはじめとする漁場の自然的な

環境だけでなく、市場経済や社会条件などの人文的なものからも考えねばならない。このような、いわば「漁業環境」は時間の経過、つまり歴史的变化によって変化し続けるのである。

このような「漁業環境」は、近年では大きく変化している。かつて指摘された水質問題は改善されつつあるが、むしろ人文的要因による変化が著しい。それは漁業者の高齢化や後継者不足などだけではない。京都に近接する地理的關係による人口増加とコミュニティの変化から生じる「漁業環境」についても、解決されねばならない問題点は少なくない。これらに関わる漁業（関係）者とその周辺の人々について、歴史・地理・民俗・社会的アプローチ、そして経済学からの学際的な検討を行うことが、今回のシンポジウムの目的である。

3. 構成（報告タイトルは仮題）

コーディネータ：河原典史（立命館大学）

パネラー

①東 幸代（滋賀県立大学）

「前近代における琵琶湖水産資源の採捕と流通」

コメンテータ：伊藤康宏（島根大学）

②井村博宣（日本大学）

「滋賀県におけるアユの種苗全国供給と養殖業の地域的展開」

コメンテータ：前潟光弘（近畿大学）

③塚本礼仁（滋賀県立大学）

「琵琶湖産淡水魚介類の流通と加工」

コメンテータ：玉置泰司（中央水産研究所）

④香川雄一（滋賀県立大学）

「琵琶湖沿岸域の変遷と漁業者に見る環境保全の役割」

コメンテータ：佐久間美明（鹿児島大学）

司会：増崎勝敏（大阪府立旭高校）

4) 宿泊施設のご案内

京都は世界的な観光都市のため、通年において宿泊施設の確保が困難な状況です。特に春・秋の観光シーズンでは、早めに予約する必要があります。そこで、第 54 回地域漁業学会への参加会員用に下記のホテルを確保しております。ご希望の会員は、下記の手順にてお申込をお願い致します。

10月26・27・28日（金・土・日）について各日20室を確保しておりますが、先着順にて受付をさせていただきます。各自で直接に以下のJTB京都支店へお申込下さい。

●案内ホテル

アパホテル京都駅堀川通

JR京都駅・烏丸中央出口徒歩約5分

http://www.apahotel.com/hotel/kansai/03_kyotoeki-horikawa/index.html

* 京都にある他のアパホテルと間違えないようご注意ください。

客室：シングル

金額：(全て1人あたり、1泊朝食付)

10月26日(金) 9,400円

10月27日(土) 9,400円

10月28日(日) 10,500円

●申込の際にいただく情報

*必ず、地域漁業学会の会員・参加者であることを申し出て下さい

①名前 ②宿泊日 ③宿泊人数 ④部屋タイプ(シングル)

※ツイン希望の場合は、別途相談となります。

⑤日中に連絡のつく連絡先

※上記の申込後、支払い方法などについて JTB 京都支店から折り返し連絡があります。

●申込先

J T B 京都支店 北村宛

メールアドレス：jtbkyoto_ei3@west.jtb.jp

電話番号：075-365-7723 (月～金 9:30～17:30)

FAX 番号：075-365-7713 (24 時間受付)

※個人情報の関係から、できる限り FAX の申込は避けていただければ幸いです。

●申込期日

8月30日(金)

●申込後の流れ

①申込時～随時 : 請求書をお送りします。指定日までにお支払い下さい

②7日前 : キャンセル料発生の対象(8日以前であればキャンセル料不要)

③宿泊確認書など : 特にお送りしません。フロントでお名前をおっしゃっていただいてチェックインする形になります。地図や確認書が必要な場合には、別途ご案内をさせていただきます。

●注 意

今回の宿泊案内・申込は、JTB 京都支店のご協力によるものです。申込は各自で直接に JTB 京都支店にお願いします。宿泊案内・申込については、大会事務局(立命館大学)では、一切関知しておりませんので、ご了承をお願い申し上げます。

2. 地域漁業学会第2回研究会（震災対応特別委員会主催）

「東日本大震災からの水産業・漁村の復旧・復興の進捗状況」

地域漁業学会 2012年度 第2回研究会の開催案内

地域漁業学会 会長 若林良和
震災対応特別委員会委員長 山尾政博

会員の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のことと存じ上げます。

地域漁業学会では、下記のとおり、本学会震災対応特別委員会主催の第2回研究会を開催いたします。先日の漁業経済学会では震災復興に関する報告会が開催され、参加者の多くの皆さんが改めてこのテーマで意見及び情報交換をはかることの重要性を認識されたことと存じます。

今回は、地域漁業学会のメンバーを中心に情報共有を目的にした研究会を開催することを計画しております。お忙しい時期とは存じますが、是非、ご参加ください。また、一般来聴を歓迎しますので、ご周知いただければ、幸甚です。よろしく願いいたします。

日時 : 2012年8月3日（金） 13:30～16:30

場所 : キャンパス・イノベーションセンター東京
<http://www.cictokyo.jp/access.html>
(広島大学専用の会議室 A408 を利用いたします)

内容 : 会長挨拶 若林良和

テーマ「東日本大震災からの水産業・漁村の復旧・復興の進捗状況」

発表者（各発表者とも、30分の報告、質疑10分）

1) 水産業・漁村の復旧・復興と水産政策

山下東子（明海大学教授）

2) 海底ガレキの回収状況と課題

磯部作（日本福祉大学教授）

3) 震災復興に向けた水研センターの取り組み

田坂行男（(独)水産総合研究センター

中央水産研究所経営経済研究センター センター長）

総合討論

司会：山尾政博（震災対応特別委員会委員長）

3. 地域漁業学会第3回研究会

地域漁業学会 2012年度 第3回研究会の開催案内

地域漁業学会

研究企画委員会 委員長：河原典史

近畿部会 部会長：増崎勝敏

以下のとおり、地域漁業学会の2012年度第3回研究会を開催します。本研究会は2012年10月27・28日に開催される京都大会（立命館大学衣笠キャンパス）でのシンポジウムに関する合同研究会でもあります。研究会での話題提供と意見交換を通じて、大会時のシンポジウムでは活発な議論が行われるよう、準備を進めてまいります。前回の立命館大学衣笠キャンパスに続き、今回は第2回目の準備会になります。

会員の皆様におかれましては、お誘いあわせのうえ、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：9月23日（日）14時～17時

会場：大学サテライトプラザ彦根 C会議室

滋賀県彦根市大東町1-7 アル・プラザ彦根6階

<http://satehikone.web.fc2.com/>

JR彦根駅西口を出て徒歩すぐ

※会場には事務室がありません。

当日のご連絡は滋賀県立大学・塚本（090-1169-6157。または
reinin.t@docomo.ne.jp）までお願いいたします。

話題提供：1. 琵琶湖の「漁業環境」を考える—湖国と古都の関わりから—
コメンテータ

伊藤 康宏（島根大学）・前潟 光弘（近畿大学）

玉置 泰司（中央水産研究所）・佐久間 美明（鹿児島大学）

2. わかさ美浜のヘシコを育てる女性たち—伝統的な魚食文化を活かす—
河原 典史（立命館大学）

4. 事務局便り

1) 個別報告の受付について

個別報告を希望される会員は、タイトル、報告者氏名（複数の場合は全員）、所属（同左）、要旨本文を A4 用紙 1 枚（縦置き横書き）に収めた Windows 版一太郎または word ファイルを、メールもしくは郵送で下記へ送付してください。また原稿ファイルとは別に、報告者の読み仮名と、プロジェクター等機材使用の有無をメール本文や別紙でお知らせください。なお、メールによるファイル送付の場合は事務上の行き違いや送受信時の事故を考慮して、印刷原稿 1 部を下記へ Fax または郵送してください。締切は 9 月 28 日（金）必着です。お送りいただいた原稿は報告要旨集に収録して配布・販売するほか、地域漁業学会の HP 等に掲載・公表される事があります。ご了承ください。

なお、シンポジウムの報告者の方は、枚数制限はありませんが同様の内容を 9 月 28 日までに申込先まで送付してください。また、コーディネータより指示がある場合はそちらに従ってください。

<申込先> 〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学水産学部 地域漁業学会要旨集担当
Fax : 099-286-4280 メール : sakuma-eco@nifty.com

2) 学会賞の推薦について

「学会賞」、「学会奨励賞（中楯賞）」および「学会功労賞（柿本賞）」の推薦がございましたら、被推薦者の氏名、同勤務先、推薦理由、その他必要事項を文書にて、10 月 9 日（火）必着で下記宛にお送りください。なお、締切後の推薦については学会本部事務局までお問い合わせください。事情により推薦を受け付けることもあります。

<送付先> 〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学水産学部地域漁業学会

3) 「地域漁業研究」投稿のお誘い

「地域漁業研究」52 巻第 3 号（2012 年 6 月号）をただいま印刷中です。発行が遅れて申し訳ございません。会員の皆様には近日中にお届け致しますので、もうしばらくお待ちください。また、次号 53 巻第 1 号（2012 年 10 月号）発行について、現在のところ発行可能な掲載数に達しておりません。会員の皆様にはぜひ投稿を積極的に行っていただきますよう、お願い申し上げます。

<投稿・連絡先>

〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学水産学部地域漁業学会 編集委員会
Tel : 099-286-4290 メール : chiikihenshu@gmail.com

地 域 漁 業 学 会 <http://jrfs.org/>

本部事務局 〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部に
Tel&Fax 099-286-4280
担当 佐久間美明 chiikioffice@gmail.com
郵便振替 : 01750-0-83886
銀行振込 : 鹿児島銀行 きしゃば支店 普通 834624